

河内長野・しゃくなげ鑑賞会に参加して

23期 畑地 豊 (2019年6月23日記)

23期三橋永一さんの呼びかけで、26期を中心に活動されている「途上人 KITANO」の皆さんとの期を越えての繋がりが発生した。

3月17日「北辰会2019年幹事会」の席上で三橋さんから「我が地元/河内長野に“しゃくなげ”を観に来ませんか！」の呼びかけがきっかけであった。

其処は「遊び人」いや、取り消し「途上人」の方々のことあつという間に話がまとまり、天候にも恵まれ5月16日催行と相成った次第。期を跨いでの交流に意義有りをつくづく感じ入った。

私は当初「滝畑ダム付近で鑑賞」とのことだったので、気軽に考えていたのであるが、いざスタートすると、歩く、歩く、山に登る、登る、「こんなハードのはずでは無かったので無いかい！」という思いを抱きながら、途上人の皆さんと案内人の三橋さんの言われるがままに必死で歩き、また走った。途上人の皆さんはこれまでの見聞に由れば、国内の名だたる山々、本格的な高い山々を踏破されている強者揃い。私などは年齢も高いしハイキング程度と考えていたので、「どえらいことになって来た！」と少し参加したことに後悔の念を抱き始めた。そしたら何と予期していなかった和泉国・槇尾山・施福寺に到達したではないか！ かなり苦しかったけど期を跨いでみんなと同じ目的に向かって汗を流し、行動している。いつか思いは北野の学校内でみんなと同じ思いで学んでいる在りし日の姿が脳裏をよぎった。楽しいことも苦しいこともみんなと共有して進んできたのだ。今もこうして一人では無い、仲間と一緒に。充実した素敵な気持ちに胸が熱くなった。

観音霊場・西国第四番の札所である。26期の梅谷さんの法螺貝に、本格的読経が始まった！「バイオリンやハーモニカだけでは無かったんかい！」私はこのように思いながら、



施福寺にて

上段：左から 高橋さん、仁張さん

中央：左から 兼田さん、桑名さん、梅谷さん、小河原さん、山田先生、筆者 畑地、三橋さん

2019.05.16

しかし私もすでに“西国の先達“ではあるのだ。有りがたいお経に頭をたれ、聞き入って敬虔な気持ちにさせて頂いた。貴重な方がおいでになる26期のみなさんは幸せだなあ！と感じ入った。私の万歩計は当日約2万と3千歩記録していた。

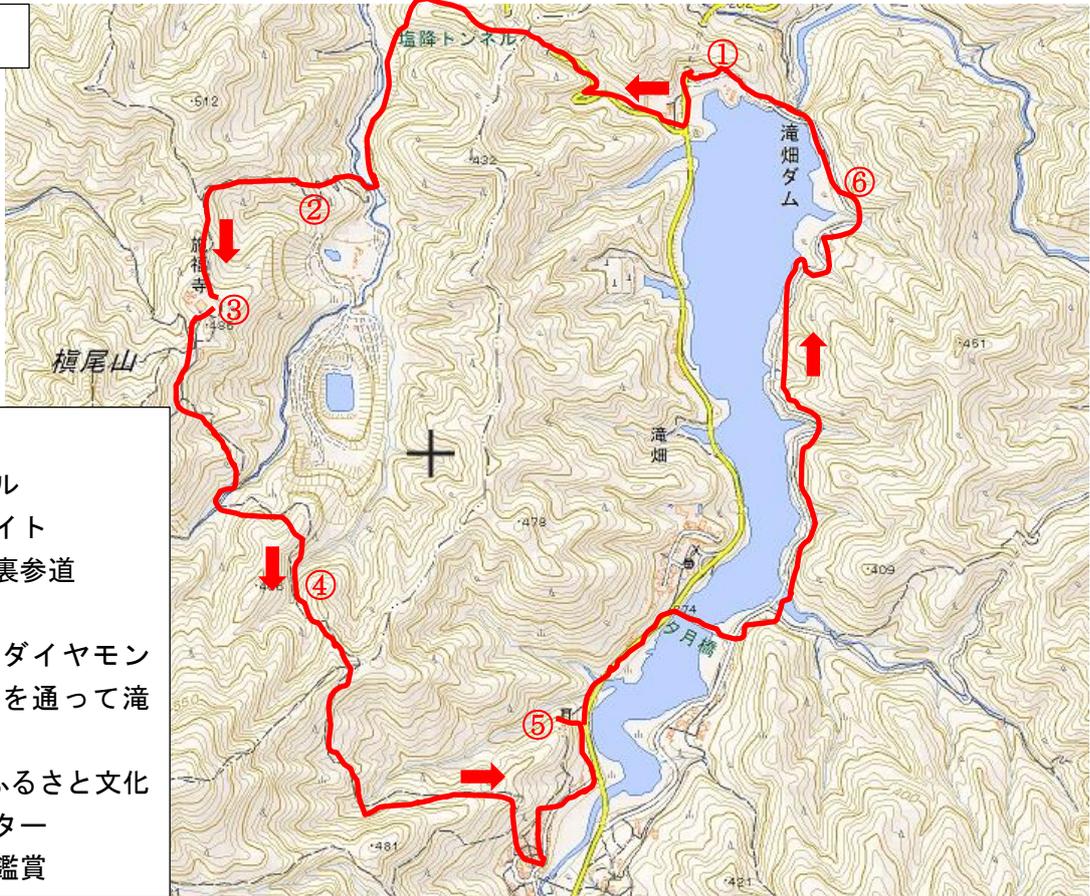
打ち上げは河内長野駅前「王将店」。私は飲めないのに「樹氷入り生ビール」が大層気に入り、いつも1杯のところ3杯も頂いてしまった。ところが女性陣の強いこと、強いこと、まるで“花より団子だい！”という感じで、ウエイトレスが走り回っていましたね。三橋さんには全員の体調など随所で細かい気配りをして頂きました。奥様にも私たちの送迎のお手伝いをして頂くなどご家族挙げて今日の“鑑賞会”成功を応援して頂きました。心から感謝申し上げる次第です。

私も若い皆さんに付いて行けるように、なお一層身体を鍛えようと思いながら、ほろ酔い機嫌で本日の集いの成果に感謝して南海電車で帰途についたのでした。（完）



待望のシャクナゲは二分咲き。つぼみが多かった。残念！

登山コース



コース説明

- ① 出発。ゴール
滝畑ダムサイト
- ② 施福寺への裏参道
- ③ 施福寺
- ④ 施福寺からダイヤモンドトレールを
通って滝畑ダムへ
- ⑤ 昼食：滝畑ふるさと文化財の森センター
- ⑥ シャクナゲ鑑賞